

株主のみなさまへ



第95期 中間ご報告

平成22年3月21日▶平成22年9月20日

株式会社 安川電機

(証券コード：6506)

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第95期第2四半期連結累計期間（平成22年3月21日から平成22年9月20日まで）における当社グループの業績について概要をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境は、期後半の円高の急速な進行はありましたが、中国をはじめとするアジアを中心とした好調な外需及び主要な国内顧客の業績回復を受け、拡大基調で推移いたしました。

このような状況を捉え、当社グループでは業績の回復・拡大を図るべく、中期経営計画“Challenge 100”に掲げる成長戦略のもと、以下の施策を実行してまいりました。

- 成長市場である、中国をはじめとするアジア、新興国市場への販売加速
- 環境エネルギー事業の推進、拡大
- 徹底的なコストダウンの継続

上記の事業環境の好転及び施策実行の結果、主要セグメントであるモーションコントロール及びロボットを中心に、売上高・損益とも前年同期から大きく拡大・改善いたしました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高1,394億64百万円（前年同期比41.8%増）、営業利益34億78百万円（同118億53百万円増）、経常利益

34億78百万円（同115億77百万円増）、四半期純利益17億1百万円（同79億63百万円増）となりました。

以上のような業績及び財務状況等を勘案し、中間配当につきましては、当初お知らせいたしておりましたとおり、1株につき2円とさせていただきます。

当社グループでは、事業内容を5つのセグメントに分けております。

当第2四半期連結累計期間の各セグメント別の業績動向はつぎのとおりです。

セグメント別の業績

セグメントの名称	売上高（前年同期比）	営業損益（前年同期比）
モーションコントロール	766億98百万円 （70.4%増）	41億66百万円 （81億19百万円増）
ロボット	379億34百万円 （50.6%増）	△5億51百万円 （47億46百万円の損失減）
システムエンジニアリング	138億85百万円 （23.7%減）	1億19百万円 （13億74百万円減）
情報	70億76百万円 （4.1%減）	△5億38百万円 （73百万円の損失減）
その他	38億69百万円 （49.2%増）	2億75百万円 （3億59百万円増）

今後の状況につきましては、中国をはじめとするアジアの成長は持続するとみておりますが、急激な円高の定着や一部の地域・業種での減速懸念等、予断を許さないものと考えております。

このような状況に打ち勝ち、市場の変化に最速・最適に対応すべく、既存の施策に加え、今後、以下の強化策を実行してまいります。

- 円高対応を含んだ利益率向上施策の加速
 - ①中国での現地調達力向上による、日本を含むグローバル生産拠点への部品等の供給
 - ②需要が拡大しているアジアにおける現地生産拠点での生産拡大
- 受注量に対応し、各生産拠点において効率的かつ円滑に生産する、生産力の再強化

これらの施策により、業績のさらなる拡大を図り、持続的成長路線へ乗せられるよう当社グループ一丸となり、果敢に挑戦してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成22年11月

取締役社長

浦田 弘嗣

モーションコントロール

ACサーボモータ・コントローラは、顧客の設備投資の再開に伴う需要の拡大に支えられ、受注は高水準となりました。急速な受注の立ち上がりには追従すべく、生産面での強化等に注力し売上の拡大に努めました。

インバータは、省エネルギー需要と、中国をはじめとするアジアを中心としたインフラ関連需要を取り込み、受注・売上とも、堅調な状況を持続しております。

これらの結果、売上高は前年同期比で拡大し、また営業損益も黒字転換いたしました。

主 要 製 品

- ACサーボモータ・制御装置
- 汎用インバータ
- 工作機械用AC主軸モータ・制御装置
- リニアモータ・制御装置
- DCサーボモータ・制御装置
- 高速モータ
- 小形精密モータ
- 複合モータ
- 高効率モータ・インバータ
- 高周波インバータ
- マトリクスコンバータ
- マシンコントローラ
- ビジョンシステム
- その他



ロボット

溶接・ハンドリングロボット等は、海外では自動車業界向け等を中心に拡販に努め、受注が拡大いたしました。国内では自動車業界向け需要回復は停滞しておりますが、一般産業界向け需要獲得に注力いたしました。また、液晶業界向け等についても堅調な水準を持続いたしました。

この結果、売上高・損益とも前年同期比で拡大・改善いたしました。

主 要 製 品

- アーク溶接ロボット
- スポット溶接ロボット
- 塗装ロボット
- ハンドリングロボット
- 半導体・液晶製造装置用クリーン・真空ロボット
- 特殊アクチュエータ
- クリーン・真空内搬送システム
- ロボット応用FAシステム
- 医療・福祉サービスロボット
- その他



システムエンジニアリング

鉄鋼業界向けが需要の端境期にあり、前年同期比で売上高は減少いたしました。原価低減と採算管理の徹底により黒字を確保いたしました。

主 要 製 品

- 鉄鋼プラント用電機システム
- 上下水道用電気計装システム
- 道路設備電源システム
- 港湾荷役用クレーン制御システム
- 紙・フィルム・繊維製造装置・印刷機械用可変速ドライブシステム
- システム情報制御機器
- 中大容量高圧インバータ
- 中大容量高圧マトリクスコンバータ
- 高圧開閉装置
- コントロールセンタ
- システム用制御盤
- 電力用配電機器
- 永久磁石内蔵形回転機
- 中大形誘導電動機
- 中形発電機及び発電装置
- その他産業用回転機
- その他



情報・その他

情報関連設備投資の回復はありましたが、競争激化により売上高は前年同期比で微減となりました。損益面では、徹底した原価低減により損失は減少いたしました。

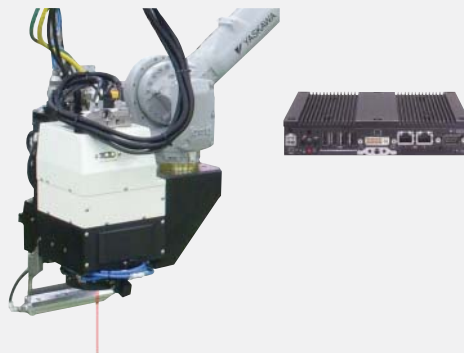
主 要 製 品

情 報

- ガルバノスキャナシステム
- フォトキオスク端末
- データ復旧サービス
- マルチカードリーダー
- 情報処理ソフト及びサービス
- OA機器
- その他

その他

- 物流サービス
- 人材派遣
- その他



風力発電市場に参入

大形風力発電用システム電機品“Enewin(エネウィン)”シリーズ第一弾 大形風力発電用コンバータ

大形風力発電の電力を制御するコンバータ装置のグローバル販売を開始いたしました。当社独自の高圧マトリクスコンバータ技術を応用し、風力発電専用に特化したコンバータ装置として開発しました。電力品質の向上(高い変換効率)・コンパクト化(コンバータ盤設置面積の低減)・省メンテナンスで、大形風力発電特有のニーズにお応えします。

“Enewin”シリーズでは、当社のドライブ技術・発電技術をいかして、発電機、各種制御システムを順次販売してまいります。

主な用途

- 風力発電施設



Enewin

サーボサイズの超小形モータを制御するインバータドライブ登場!

超小形・耐環境性可変速

V1000picoドライブ

新開発した超小形エンコーダレス同期モータ「V1000picoモータ」と小形汎用ベクトル制御インバータ「V1000」を組み合わせたパッケージ商品「V1000picoドライブ」の販売を開始いたしました。

V1000picoモータはサーボモータレベルの超小形サイズでありながら、水・ほこり・振動・温度(低温・高温)・電磁ノイズ等の周囲環境にも強く、高い信頼性を確保します。また、V1000インバータは同期モータ、誘導モータ等、様々なモータを駆動することができるため、インバータの一元化を可能にし、在庫管理を容易にします。当社のインバータ技術による省エネと使いやすさで、お客様のニーズにお応えしてまいります。

主な用途

- 搬送機械
- 食品機械
- 包装機械
- 小形ファン
- 小形ポンプ
- その他の小形流体機械・回転体機械



国内初 国際安全規格に対応

ACサーボドライブ

Σ -Vシリーズ セーフティモジュール

業界最高性能を誇るACサーボドライブ Σ -V(シグマ・ファイブ)シリーズに、セーフティ機能を備えたオプションモジュール(セーフティモジュール)を新たにラインアップいたしました。

ACサーボドライブ用としては日本国内メーカーで初めて、国際規格に規定されている4つの機能*に対応しています。

これにより、機械使用時のリスクを低減、機械可動部の危険な動作から人を保護し、機械システムに最適な安全設計が容易にできます。

主な用途

- 自動車関連市場
- 金属加工市場
- 欧州向け装置

*：IEC61800-5-2のSTO機能、SS1機能、SS2機能、SLS機能



セーフティモジュール

トピックス

中国・瀋陽市に新工場が竣工

中国・遼寧省瀋陽市の経済技術開発区に「安川電機(瀋陽)有限公司」の工場が竣工し、今年6月からサーボモータ・サーボアンプの生産を開始いたしました。

当社は中期経営計画「Challenge 100」で、「市場対応力強化によるグローバル展開の加速」を掲げております。今年度は「アジアシフトの加速」の方針の下、特に成長率の高い中国市場を重要市場と位置付け、シェア拡大に取り組んでいます。

既設の中国・上海の生産拠点である「上海安川電動機器有限公司」と連携して、中国市場を幅広くカバーし、多様化するお客様のニーズにスピーディにお応えいたします。また、安定的な供給体制を構築することにより、顧客満足を高めてまいります。



トピックス

欧米子会社の統合再編

米国安川(株)と欧州安川(有)に社名変更

米州及び欧州におけるグループ経営の強化を図るため、ロボット、モーションコントロール、サービスといった事業別構成であった海外子会社の再編を行いました。

米州、欧州にそれぞれ事業統括会社を設立し、社名を変更するとともに、コーポレートブランドを「YASKAWA」に統一いたしました。これにより、事業横断的に幅広いソリューションを提供するとともに、新しい事業領域への展開や、南米、東欧等の周辺地域への拡販体制を強化してまいります。

● 米州地区の再編成 *1

当社が出資する米国安川電機(株)(YASKAWA Electric America, Inc.)とMOTOMAN, Inc.を統合し、社名を米国安川(株)(YASKAWA America, Inc.)としました。

● 欧州地域の再編成 *2

当社が出資する欧州安川電機(有)(YASKAWA Electric Europe GmbH)とMOTOMAN Robotec GmbHを統合し、社名を欧州安川(有)(YASKAWA Europe GmbH)としました。

*1：旧MOTOMAN, Inc.は米国安川(株)のロボット部門として営業を継続します。

*2：旧MOTOMAN Robotec GmbHは、欧州安川(有)のロボット部門として営業を継続します。

トピックス

インド共和国に現地法人を設立

インド市場におけるモーションコントロール製品の拡販を目的として、インド共和国・バンガロール近郊に現地法人(YASKAWA India Private Limited)を設立いたしました。

インド経済は2008年来の世界同時不況下でも成長を続けており、今後も継続的な需要拡大が期待される有望市場です。当社は1990年代から、販売パートナーを通じてインドのインフラ・環境・産業用機械向けにモーションコントロール事業を展開してまいりましたが、新会社設立により、一層の拡大を図ってまいります。

新会社では、2011年1月(予定)からインバータ、サーボ製品の現地生産を開始し、需要増に対応するとともに、納期短縮や原価低減を図ることにより、競争力の向上に努めます。更に、販売パートナーとの協業を深め、インドにおけるマーケティング力も強化してまいります。



8

ハイブリッド 発電システムの開発

世界的な課題となっている二酸化炭素削減に寄与するため、「創エネルギー」分野の事業を積極的に展開しています。

世界シェアNo.1のインバータ技術で培われたパワー変換技術をベースに、自然エネルギーを効率よく商用エネルギーに変換・利用するシステムの開発に力を注いでいます。

太陽光発電システム

太陽電池で発電した直流電力を、高効率で交流電力に変換するシステムの開発に取り組んでいます。当社が誇る「3レベル制御」等のインバータ技術をパワーコンディショナに应用することで、高効率変換及び小形化を実現しています。

風水力発電システム

風力や水力等の自然エネルギーから得られた回転運動で、効率的に発電するシステムの開発に取り組んでいます。出力変化に合わせ最も効率の良くなる制御を、発電機制御コンバータによって実現しています。

この他にも、蓄電池への充電や放電を制御し、不安定な自然エネルギー発電の出力安定化や変動する負荷の平準化等に利用する「充放電コンバータ」や、電気自動車（EV）に短時間で充電する「急速充電器」も開発中です。



太陽光発電システム

新製品：太陽光発電用パワーコンディショナ
PV1000

公共・産業用途向けに三相200V及び単相200V 10kWの販売を開始しました。通常、外部に設置する接続箱*1や気象計変換器*2等を標準で内蔵し、入力電圧範囲を広くすることで、色々な太陽電池と組み合わせる利用することが可能です。今後、5kWレベルの小容量機種から100kWレベルの大容量機種まで、ラインアップを広げてまいります。



■ システムの構成



太陽電池



風水力発電システム

小容量発電装置、小形風力発電用機器

■ システムの構成



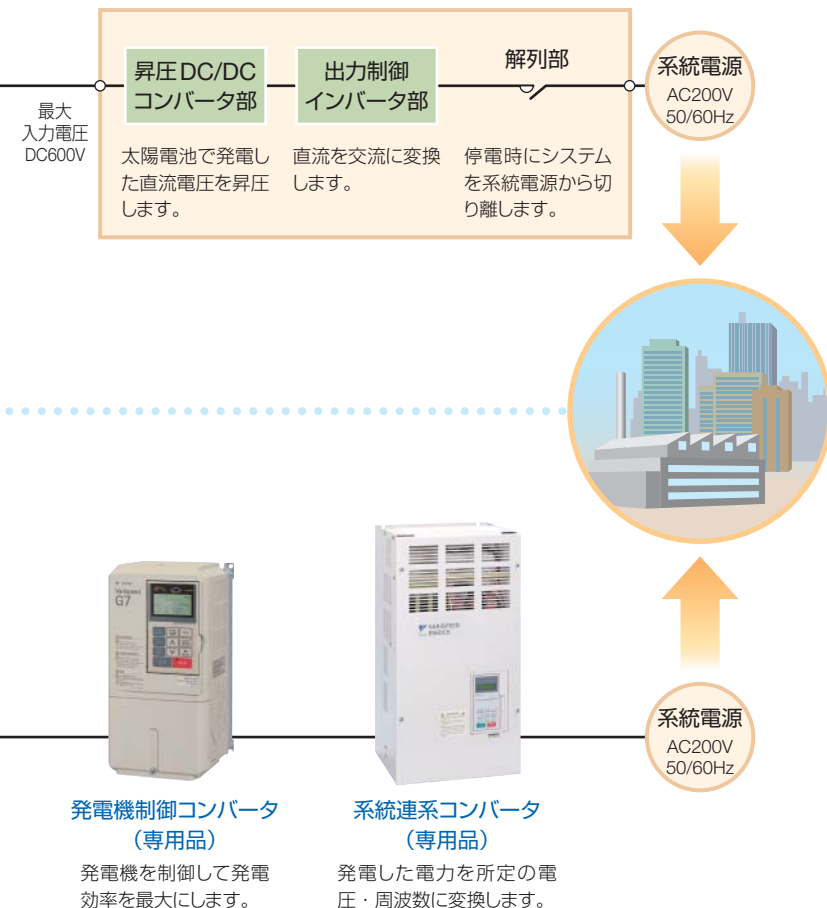
原動機

※写真は（株）ウインドレンズ製「風レンズ風車」です。直径3.4mで、風速10mで出力3kWになります。



発電機

原動機の回転エネルギーを電気エネルギーに変換します。



主な特長

- **高効率制御**
変換効率94%*3を実現。
- **広範な入力電圧範囲**
最大入力電圧DC600Vで運転可能。
また、DC250V以上で定格出力が可能。
- **自立運転機能**
系統電源停電時の非常負荷運転用として自立運転機能を搭載。
- **JET*4 認証品**

*1：複数の太陽電池アレイによって発電された直流電力を、一つにまとめる機器

*2：日射計や気温計から発する電気信号を、記録計等で使用できる電気信号に変換する機器

*3：三相200V 10kW機において、接続箱機能を除く、DC400V入力時

*4：(財)電気安全環境研究所

主な特長

- **高効率発電**
 - ・IPM* 発電機により高効率発電を実現。
 - ・風速が変化しても風車を効率よく運用する、出力電力最大化制御を実現。
 - ・強風時連続運転制御により稼働率が向上。
- **安全・安心**
 - ・風速・回転数を監視し、過回転を防止する高速逸走回避制御が可能。
 - ・暴風時、確実な停止を維持する強力な機械式ブレーキを搭載。
 - ・遠隔監視制御により離れた場所から監視・操作が可能。

*：Interior Permanent Magnet (永久磁石内蔵形)

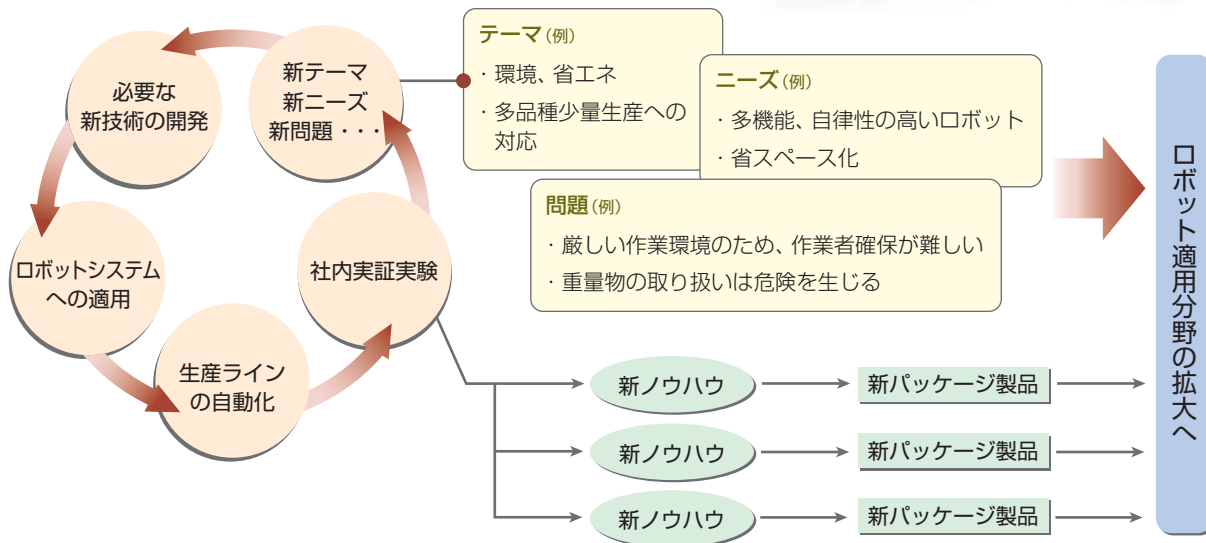
ロボット化ノウハウで お客様の課題を解決します

「R1000」プロジェクトとは

「R」はロボット、「1000」は1000台を意味し、当社設備へロボットを1000台導入することをスローガンに2009年から実施しているプロジェクトです。

ロボットによる社内設備の自動化を自ら提案・実践することで、自社工場をショールーム化し、自動化の可能性をお客様へPRしています。また、蓄積したノウハウをもとに、設備の自動化についてお悩みのお客様に具体的な解決策の提案も行っています。

生産性の向上はもちろん、本プロジェクト活動を通して自動化のニーズを掘り下げ、ロボットの更なる適用分野拡大を目指します。



PICK UP

搬送・組立用双腕ロボット

当社は業界で初めて人の形や動きをイメージした新世代ロボットを量産化・販売しています。ロボットサイズを人とほぼ同じにし、人の腕と同じ7つの関節を持っているため、人が行っていた作業や環境を大幅に変更することなく、導入することが可能です。この先進的なコンセプトを持った新世代ロボットは、R1000プロジェクト推進の大きな原動力となっています。



双腕ロボット
MOTOMAN- SDA10D



双腕ロボット
MOTOMAN- SDA20D

導入事例

厳しい作業環境から人を解放

ワニス塗布装置

プリント基板・電子部品は、粉塵・結露・有毒ガス等の悪影響を及ぼす物質や環境から保護する必要があります。このため基板表面にワニスと呼ばれる絶縁性の樹脂を塗布する作業が必要となりますが、ワニスには強い臭気があるため、作業者の負担となっていました。

そこで当社は、ワニス塗布装置にロボットを導入することで、このような厳しい作業環境から作業者を解放しました。

ワニス塗布から乾燥、検査までの工程一体形で、必要な設置面積は従来の約3分の1です。また、乾燥方式の工夫により、使用するエネルギーは従来の50%以下となっており、環境にも優しい装置となっています。

現在、この装置は当社入間事業所と行橋事業所（ドライブセンタ）で稼働しています。



入間事業所のロボット



行橋事業所（ドライブセンタ）で活躍する腕形の新世代ロボット

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表(平成22年9月20日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	177,054	流動負債	119,839
現金及び預金	18,180	支払手形及び買掛金	61,467
受取手形及び売掛金	83,344	短期借入金	32,268
たな卸資産	53,660	未払費用	15,455
繰延税金資産	7,520	その他	10,647
その他	15,961	固定負債	41,720
貸倒引当金	△ 1,612	長期借入金	9,201
固定資産	77,423	退職給付引当金	31,176
有形固定資産	36,298	役員退職慰労引当金	254
建物及び構築物	16,161	その他	1,088
その他	20,136	負債合計	161,559
無形固定資産	5,484	純資産の部	
投資その他の資産	35,639	株主資本	94,269
投資有価証券	16,527	資本金	23,062
繰延税金資産	15,566	資本剰余金	18,682
その他	4,095	利益剰余金	52,942
貸倒引当金	△ 549	自己株式	△ 416
		評価・換算差額等	△ 6,100
		その他有価証券評価差額金	1,163
		繰延ヘッジ損益	△ 0
		為替換算調整勘定	△ 7,263
		少数株主持分	4,748
		純資産合計	92,918
資産合計	254,478	負債・純資産合計	254,478

連結損益計算書

(単位：百万円)

自平成22年3月21日 至平成22年9月20日	
売上高	139,464
売上原価	105,022
売上総利益	34,442
販売費及び一般管理費	30,963
営業利益	3,478
営業外収益	819
受取利息	61
受取配当金	178
雇用調整助成金	185
その他	393
営業外費用	819
支払利息	321
持分法による投資損失	10
為替差損	306
その他	181
経常利益	3,478
特別利益	42
固定資産売却益	42
特別損失	502
固定資産除売却損	37
投資有価証券評価損	358
その他	106
税金等調整前四半期純利益	3,018
法人税、住民税及び事業税	2,056
法人税等調整額	△ 685
少数株主損失(△)	△ 54
四半期純利益	1,701

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

自平成22年3月21日 至平成22年9月20日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,254
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 390
現金及び現金同等物の増減額	820
現金及び現金同等物の期首残高	16,296
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	926
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,043

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比128億28百万円増の2,544億78百万円となりました。これは、流動資産が増加したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末比132億円増の1,615億59百万円となりました。これは、流動負債が増加したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末比3億71百万円減の929億18百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前期末比17億47百万円増の180億43百万円となりました。

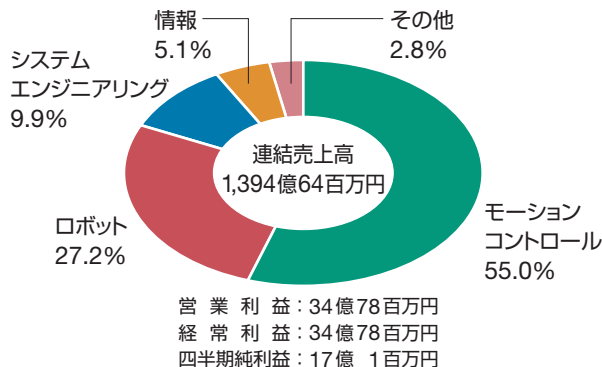
営業活動によるキャッシュ・フローは、44億70百万円の収入となりました。これは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、32億54百万円の支出となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出等によるものです。

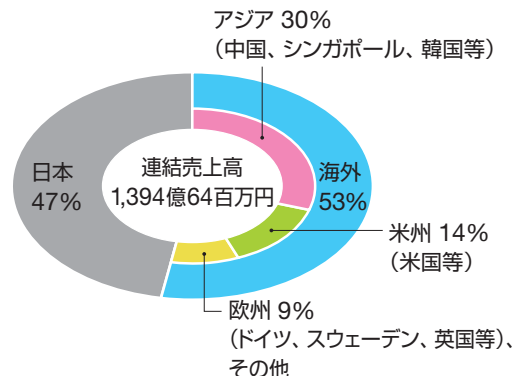
この結果、営業活動と投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、12億16百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、5百万円の支出となりました。これは、長期借入金の返済や配当金の支払い等があった一方で、短期借入金の増加や、長期借入を実施したことによるものです。

第95期 第2四半期累計 連結売上高構成比率



第95期 第2四半期累計 海外売上高



株式の状況（平成22年9月20日現在）

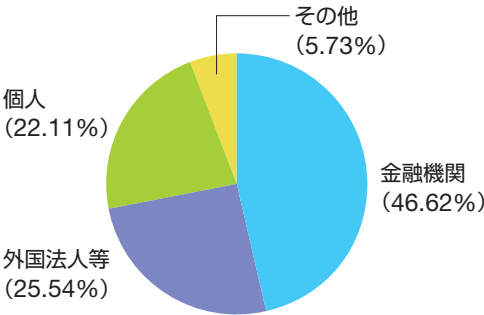
役員（平成22年9月20日現在）

発行可能株式総数 560,000 千株
 発行済株式の総数 252,331 千株
 資本金 230億62百万円
 株主数 24,572 名

大株主(上位10名)	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,884 千株	5.91%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,716 千株	4.65%
株式会社みずほコーポレート銀行	9,473 千株	3.76%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.16%
明治安田生命保険相互会社	7,774 千株	3.09%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.53%
サジヤツブ	6,308 千株	2.50%
野村信託銀行株式会社(信託口)	5,473 千株	2.17%
日本生命保険相互会社	4,247 千株	1.69%
全国共済農業協同組合連合会	4,150 千株	1.65%

(注) 持株比率は、自己株式を控除して算定しております。

所有者別株式分布状況



取締役会長	利島康司
取締役社長	津田純嗣
取締役副社長	武井紘一
専務取締役	鬼頭正雄
常務取締役	沢俊裕
常務取締役	宇佐見昇
常務取締役	中村公規
取締役	深堀慶憲
取締役	後藤英樹
取締役	小笠原浩
取締役	本松修
取締役	村上周二
取締役	南善勝
取締役	柳瀬重人
取締役	中山裕二
取締役	高宮浩一
常任監査役(常勤)	岩田定廣
監査役(常勤)	市川学
監査役	三井康誠
監査役	石丸誠

事業年度	毎年3月21日から 翌年3月20日まで	公告掲載新聞	日本経済新聞
定時株主総会	6月	上場金融商品取引所	東京・福岡
(配当金受領)	毎年3月20日(期末配当金)	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
(株主確定日)	毎年9月20日(中間配当金)		

お知らせ 郵便物送付先・電話お問い合わせ先等に関しましては、下記のとおりとなります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様あてに「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした「配当金計算書」を同封しておりますので、平成23年の確定申告の添付資料としてご使用いただくことができます。

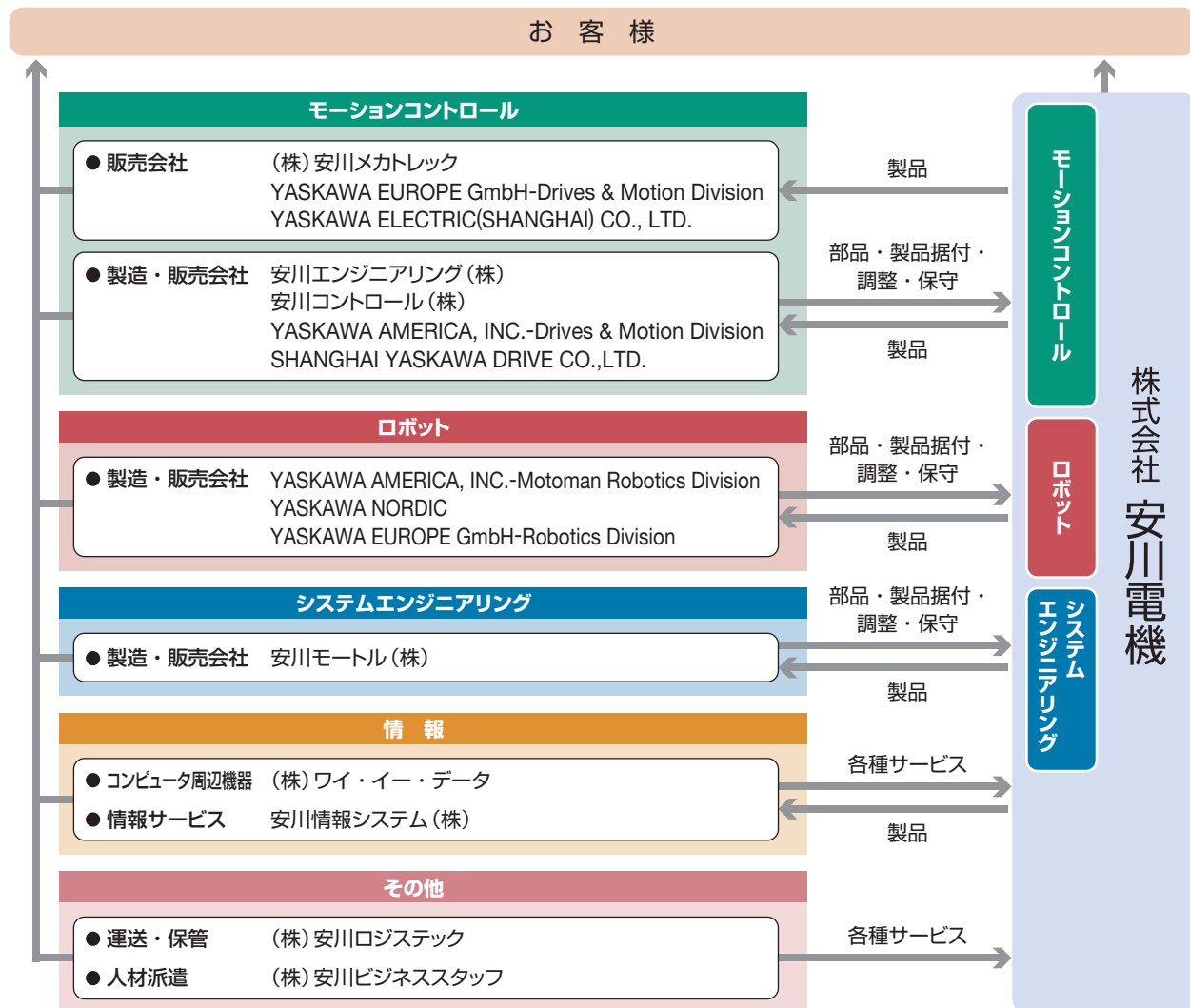
なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算はお取引の証券会社等にて行われますので、平成23年の確定申告の添付資料としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

ホームページのご案内

下記の当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。
<http://www.yaskawa.co.jp/>

当社グループの状況

当社グループは、当社を中核として子会社78社及び関連会社20社（平成22年9月20日現在）により構成され、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」「情報」「その他」の各部門の様々な分野において、製造、販売、据付、保守、エンジニアリング等の事業展開を行っております。



(注) 上記の会社は全て連結子会社であり、主要な会社のみ表示しています。

平成22年6月1日より、当社グループは米州及び欧州における子会社の統合再編、社名変更を行っております。(7ページをご参照ください。)

株式会社 ワイ・イー・データ及び安川情報システム株式会社の2社は東京証券取引所第二部に上場しています。

会社の概要 (平成22年9月20日現在)

商 号 株式会社 安川電機

英文社名 YASKAWA Electric Corporation

設 立 大正4年7月16日

従 業 員 8,151名(連結) 2,839名(個別)

事 業 所 本 社	〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号	電話 (093) 645-8801
東 京 支 社	〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 ニューピア竹芝サウスタワー	電話 (03) 5402-4502
名古屋支店	〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号 堀内ビル	電話 (052) 581-2761
大 阪 支 店	〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 新藤田ビル	電話 (06) 6346-4500
九 州 支 店	〒810-0001 福岡市中央区天神四丁目1番1号 第7明星ビル	電話 (092) 714-5331
工 場 等	八幡西事業所・八幡東事業所・行橋事業所・入間事業所・小倉事業所	

主要関連会社

JAPAN

- 株式会社 ワイ・イー・データ
電算機周辺・端末機器の製造・販売並びに
Ontrack(オントラック)データ復旧サービス
- 安川情報システム株式会社
情報の処理提供サービス・ソフトウェア開発並びにシステム機器販売
- 安川コントロール株式会社
電気機械器具及びその部品の製造・販売
- 安川エンジニアリング株式会社
電気機械設備の保全・整備・試運転調整及び技術指導
- 株式会社 安川ロジステック
総合物流事業
- 安川モートル株式会社
電動機、発電機及び電動機応用製品の設計・製造・販売・保全・整備
及び調整

EUROPE

- YASKAWA EUROPE GmbH (ドイツ)
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA NORDIC AB (スウェーデン)
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)
インバータの製造・販売・サービス
- YASKAWA EUROPE TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)
サーボ・コントローラの開発・製造・販売・サービス、ロボットの販売・サービス

ASIA

- YASKAWA ELECTRIC(SHANGHAI) CO., LTD. (中国)
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス
- SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD. (中国)
インバータ・サーボ・コントローラの製造・販売
- SG-MOTOMAN ROBOTIC CO., LTD. (中国)
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC (SHENYANG) CO., LTD. (中国)
サーボ・コントローラの製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)
インバータ・サーボ・コントローラ・ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)
インバータ・サーボ・コントローラ・ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス、ロボットのサービス
- MOTOMAN MOTHERSON ROBOTICS LTD. (インド)
ロボットの販売・サービス

AMERICA

- YASKAWA AMERICA, INC. (アメリカ)
インバータ・サーボ・コントローラの製造・販売・サービス
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA MOTOMAN CANADA, LTD. (カナダ)
インバータ・サーボ・コントローラのサービス、ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL LTDA. (ブラジル)
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス



株式会社 安川電機



- 古紙を含んだ再生紙を使用しています。
- 環境にやさしい植物性大豆油を使用しています。